

第4回枚方市新しい学校づくり協議会 次第

日時：令和3年7月17日（土）10時～

1. 学校名（案）の選定について
2. ワーキングチームについて
3. 新しい学校の教室配置（素案）について
4. 高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（案）
5. その他

新しい小学校名(案)選出一覧

資料 1

No.	氏名	新しい小学校名 (漢字)	新しい小学校名 (よみがな)	選出理由
1	大村 顕一郎	禁野台	きんやだい	応募された方が理由に記載されている通り、両校校歌で禁野台が歌詞に使用されている為、両校の在校児童が馴染みやすいこと。また立地の歴史、地理的にも禁野台という名称は小学校の名前にふさわしいものだと思います。
2	加嶋 隼人	きんや台	きんやだい	理由は皆さんの応募理由が素晴らしいものだったからです。 この地の歴史や文化を踏まえた、内容がある名前だと思います。そして、「禁野台」よりも「きんや台」の方が読み間違いがなく、そして柔らかい印象を与えるものであったため、漢字表記ではない「きんや台」が、新しい小学校の名前に相応しいと感じました。
3	森 崇	禁野台	きんやだい	・当初、「天の川」の方が、簡単で分かりやすく、親しみやすいかなとも考えたが、両小学校の校歌にも出てくるというのであれば、子どもになじみのある言葉なので「禁野台」の方がいい。 ・ひらがなの「きんや台」というのもありであるが、できれば地域の由緒ある「禁野」という文字を使う方がいい。
4	森田 吉彦	禁野台	きんやだい	両校区の校歌にも禁野台という歌にもなっている為、将来に残る事になる事と、昔から歴史に乗っている地名が良い。
5	松浦 作仁	禁野台	きんやだい	・平安時代の皇族の遊獵地であったため、「禁野」の地名の由来となったこと。 (惟喬親王や在原業平など歴史上の人物が多数訪れ、伊勢物語等の古典文学にもその由緒が多く記されている。) ・高陵、中宮北両校の校歌に、それぞれ「禁野台」の地名が歌われ、両校区に根付いていること。 ・「禁野台」の地名は、両校区の伝承や歴史、文化の象徴として、今も残っていること。
6	明井 美絵	禁野台	きんやだい	・高陵小学校と中宮北小学校の校区に「禁野」という地名がある。 ・平安時代には皇室の狩猟場とされていたことや近代においては火薬庫が置かれていたことなど、地域の歴史を知る・学ぶといった意味でも学校名としてふさわしいのではないかと。 ・歴史的な土地の名前を後世に残すことも重要である。 ・高陵小学校のある場所は、枚方市の中でも高台にある。 ・高陵小学校と中宮北小学校の両校歌に「禁野台」という言葉がある。
7	中田 祐之	天の川	あまのがわ	・夢のある校名。 ・地域の特性を表現している。 ・わかりやすい名前。 ・七夕伝説に由来している。 ・学校のイメージが良い。 ・天の川が近くを流れている。 ・校歌や校章に取り入れやすい。 ・一年生が漢字で読み書きできる。

No.	氏名	新しい小学校名 (漢字)	新しい小学校名 (よみがな)	選出理由
8	春永 剛	あおぞら	あおぞら	<p>子どもたちの、「あおぞら」のもと、自然事象に興味をもち、主体的に考え、判断し、行動する「態度」を育てたい。</p> <p>「あおぞら」のように、晴れ晴れとし、澄み切った「心」を育てたい。</p> <p>「あおぞら」の日には、みんなと遊び、運動する、元気な「体」を育てたい。</p> <p>以上の理由から、校名に「あおぞら」を選出しました。</p> <p>また、新しい小学校名で「あおぞら」を応募された方が、理由・根拠・由来等で示している、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すがすがしい青空のように、澄みきった、晴れわたった学校環境を創造して欲しい。 ・子供たちが新たな学び舎でのびのびと学び、遊び、「青空」のようにスケールの大きな明るい人に成長し、幸せな人生を歩んでほしいという願いをこめています。 <p>に共感したのも、選出した理由の一つです。</p> <p>以下の内容は、「あおぞら」というより、「空(そら)」全般の捉え方となるため、参考までに記入しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「空」には、「つながる」イメージがあり、今まで、違う学び舎で過ごしてきた子どもたちが、新しい学校で「つながる」というイメージにも合うと思いました。 ・「空」には、太陽があり、太陽のように、「元気」で温かい「心」をもった子どもになってほしいという願いもあります。また、太陽には、「明日」を照らすイメージがあり、新しい学校の「明日」を照らすという意味でも、イメージに合うと思いました。
9	山下 功	桜風台	おうふうだい	<p>応募の理由にもありましたが、殿山百済寺通等には市の花である桜が多くあり、その桜が風に乗って禁野の台地を爽やかに通り抜ける様がとても美しく、「桜風台」という学校名はイメージと一致している。地域と共に新しい学校が爽やかで素晴らしい小学校となって欲しいため。</p>
10	棧敷 勝	ふたば	ふたば	<p>各々の小学校を1つの葉とし、1つ1つの葉が合わさって”ふたば”となり、その”ふたば”から綺麗な花を咲かすように、統合校にも綺麗な花のような小学校になって欲しいため。</p>

新しい小学校名(案)応募数順位表【抜粋】

資料 2

順位	応募数	新しい小学校名(漢字)	新しい小学校名(よみがな)	
1	19	禁野台	きんやだい	※1
2	13	禁野	きんや	
3	11	天の川	あまのがわ	
4	10	御殿山	ごてんやま	※2
5	9	柳桜	やなぎざくら	
6	4	かわせみ	かわせみ	
6	4	坂上	さかうえ	
6	4	中北高陵	なかきたこうりょう	
9	3	元気	げんき	
9	3	高陵中北	こうりょうなかきた	
9	3	御殿山南	ごてんやまみなみ	
9	3	坂の上	さかのうえ	
9	3	中宮高陵	なかみやこうりょう	
14	2	かがやき	かがやき	
14	2	きんや台	きんやだい	※1
14	2	高宮北	こうみやきた	
14	2	清北	せいほく	
14	2	高宮	たかみや	
14	2	中央	ちゅうおう	
14	2	中陵	なかりょう	
14	2	ふたば	ふたば	
14	2	双葉	ふたば	
14	2	陵宮	りょうぐう	
14	2	若葉	わかば	
25	1	高陵中宮	こうりょうなかみや	
25	1	こころ	こころ	
25	1	ごてん山	ごてんやま	※2
25	1	御殿山桜	ごてんやまさくら	

※1 新しい小学校名(漢字)が「禁野台」と「きんや台」の相違。

※2 新しい小学校名(漢字)が「御殿山」と「ごてん山」の相違。

高陵小・中宮北小の令和3年度将来推計（R6に5年生が、R7に6年生が35人学級を反映）

資料3-1

令和3年度児童数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
高陵小	34	36	38	38	34	40	33	38	37	32	24	31
中宮北小	47	39	49	41	45	30	32	28	25	38	22	40
合計	81	75	87	79	79	70	65	66	62	70	46	71



新しい学校の児童・学級数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和4年度	学級数	2	2	2	2	2	2	12
	児童数	70	65	66	62	70	46	379
令和5年度	学級数	3	2	2	2	2	2	13
	児童数	79	70	65	66	62	70	412
令和6年度	学級数	3	3	2	2	2	2	14
	児童数	79	79	70	65	66	62	421
令和7年度	学級数	3	3	3	2	2	2	15
	児童数	87	79	79	70	65	66	446
令和8年度	学級数	3	3	3	3	2	2	16
	児童数	75	87	79	79	70	65	455
令和9年度	学級数	3	3	3	3	3	2	17
	児童数	81	75	87	79	79	70	471

支援学級数

	令和3年	令和4年 ～7年
高陵小	3	-
中宮北小	5	-
新しい学校	-	7

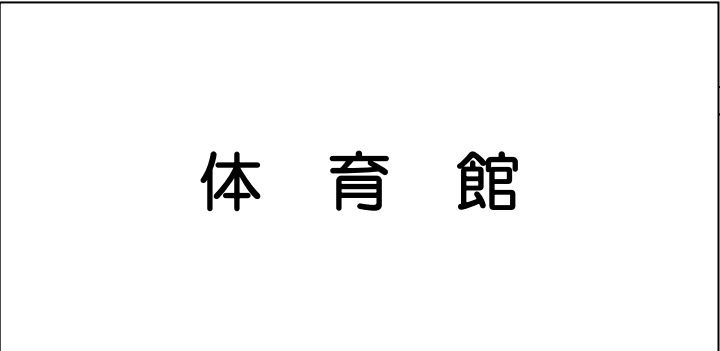
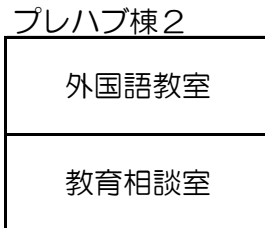
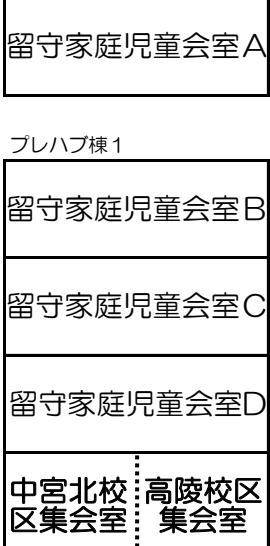
運動場

普通学級	12学級
支援学級	7学級

教室棟 (※)児童会室兼用

物置 物置

中宮北小敷地内に高陵校区防災用品物置を2基設置
※奥行が1m以内のもの又は高さが1.4m以内のもの



枚方市立〇〇小学校



教室配置図 運動場

普通学級	15学級
支援学級	7学級

教室棟

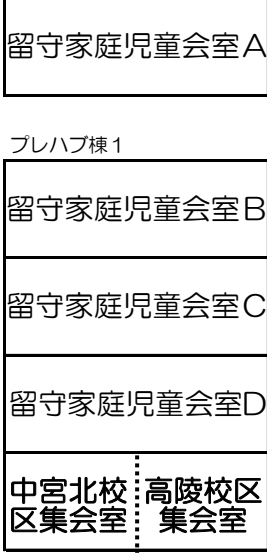
物置 物置

中宮北小敷地内に高陵校区防災用品物置を2基設置
※奥行が1m以内のもの
又は高さが1.4m以内のもの

プレハブ棟2

少人数教室 (※)

教育相談室



(※)放課後自習室・児童会室・生活科室・外国語教



管理棟



枚方市立〇〇小学校

基本的な考え方

この新しい学校づくりは、令和 3 年 6 月に策定した「枚方市のめざす学校像」を指針として、高陵小学校と中宮北小学校を統合して誕生する新しい学校での特色ある教育の取り組みとそれを実現するための環境整備にかかる概要を示すものである。これまでの両校での学びをさらに発展させ、児童の心身の健やかな成長を支援するため、以下の主な取り組みを進めていく。

併せて、「誰ひとり取り残さない」世界の実現をめざす SDGsの目標「包摂的かつ公正な質の高い教育を提供」を始めとして、「持続可能な近代的エネルギーへのアクセス」や「健康的な生活を確保し、福祉を促進」など持続可能な達成目標を掲げ、未来志向の新しい学校づくりを推進する。

1. 枚方版「ニュー・スマート・スクール」の推進

「1人1台タブレット活用」先進都市として、枚方版 ICT 教育モデルによる学力向上の取り組みとともに、ICT 等を活用した様々な取り組みを進める。

(1) ICT の活用で学力向上と安全対策に取り組む学校

- ・校内において児童のタブレット利用が効率的・効果的に進むよう Wi-Fi 環境のさらなる充実、普通教室への超大型テレビの設置など ICT 教育の環境づくりをさらに進める
- ・ICT 等を活用した安全監視や保護者への授業配信などに取り組む



ICT を活用した教室

「めざす学校像」から望ましいと考えられる環境整備	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【普通教室】 多様な学習形態に対応する机、家具などの配置が可能な面積、形状等とする。 ICT を日常的に活用でき、他の教室や家庭にも授業配信できる環境とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○遠隔授業に活用する大型モニター、授業配信用カメラの設置 ○大容量通信網の整備 ○校門、廊下などへ顔認証が可能な高機能防犯カメラの設置

2. 一人ひとりの子どもを大切に作る学校づくり

「子どもを守る条例」の基本理念に則り、学校としての役割を十分に果たすための学校づくりを行うとともに、一人ひとりの子どもが自他ともに認めあい、尊重し合う学校づくりを行う。

(1)新しい生活様式に対応した学校

- ・災害時だけでなく平時の学校事故防止のため、児童や教員の学校生活での動線に配慮した教育環境を確保する
- ・新しい生活様式にも対応した、衛生的な施設・設備の整備
- ・35人学級実施や支援学級在籍児童の増加などを見据えた施設・設備の整備

「めざす学校像」から望ましいと考えられる環境整備	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【多目的教室】 多様な学習内容・学習形態に対応するとともに、総合的な学習の活動の場として、個別学習、少人数指導による学習、グループ学習等に対応できる計画とする。</p> <p>【進路資料・指導室】 生徒の立ち寄りやすい位置に計画し、静かで落ち着いた雰囲気となるよう、また必要に応じ、進路相談を行うことができる空間等を計画する。</p> <p>【便所】 洋式便所を採用するなど、生活様式や児童のニーズ等を踏まえた便所を計画する。障害のある生徒、教職員及び学校開放時又は避難所開設時の高齢者、障害者等の要配慮者の利用を踏まえた便所を計画する。</p> <p>【プール】 水泳指導に民間活力を効果的に活用することを旨として計画する(現在モデル事業実施予定)。</p> <p>【配膳室等】 学校給食が安全で円滑に提供できるよう、また、児童生徒に負担がかからないよう配膳室の配置及び配膳室と教室とを結ぶ安全な動線の確保を計画する。</p> <p>【保健室】 屋内外の運動施設との連絡がよく、児童の出入りに便利な位置、救急車レントゲン車などが容易に近接できる位置に計画する。</p> <p>【職員室】 校務、教務等の執務内容や各種教材等の保管を考慮し、必要な規模の空間を確保する。学校規模等に応じ、学年ごと等に分散した教師の打ち合わせコーナーを確保する。</p>	<p>○教室の配置や空間の活用等については、3密回避の対応を行う</p> <p>○多目的な活用ができるオープンスペースを設置</p> <p>○すべての手洗場に自動水栓を設置</p> <p>○トイレの洋式化、バリアフリートイレの設置(障害児・性的マイノリティへの配慮)</p> <p>※水泳授業の取り組みやプールの設置については、現在検討中。</p> <p>○音楽や映像で「食育や健康を学ぶ」ランチルームの整備 災害時には被災情報の掲示や「炊き出し」の拠点機能の役割も果たす</p> <p>○職員室には必要に応じて各教室の様子が確認できるモニターを設置。</p>

(2)「個」に応じた支援教育を進める学校

- ・児童の障害の種別に応じて教員が支援できる施設づくり
- ・支援教育の体制を整備する

「めざす学校像」から望ましいと考えられる環境整備	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【普通教室】 障害のある児童生徒が通常の学級に在籍することがあることを踏まえ、必要に応じ特別支援学級関係教室の内容を準用する。</p> <p>【特別支援学級関係室】(支援教室) 児童生徒の障害の状態や特性等に応じ、特別支援学校施設整備指針を準用する。</p> <p>【校舎】 児童生徒の障害の状態や特性等に応じ、特別支援学校施設整備指針を準用する(校舎のバリアフリー化)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○エレベーターの活用も含め児童の障害の状態に応じた適切な支援教室の配置 ○普通教室の仕様として、防音効果のあるパーテーションを設置 ○トイレやシャワーのある肢体不自由児対応教室を普通教室規模で設置

3. 子どもの夢や志をはぐくむ学校づくり

子どもの発達段階に応じて、豊かな心や夢や理想の実現に向かって生きる力、社会に貢献するという高い志をはぐくむため、子どもたちが目標をもって楽しく学べる学校づくりを行う。

(1)安心と夢のある学校

- ・森林環境譲与税の活用も図りながら、木材等を活用するなど特徴的な外観を持つ、夢のある校舎づくり
- ・心の教室や相談室だけではなく、廊下や校庭などにも児童が教員や友達と数人で相談できるスペースを設ける
- ・すべての児童が安心して学校生活を送れるようにユニバーサルデザインを重視した施設づくり
- ・効果的、効率的な活用を可能とする柔軟性、汎用性を持った多目的な教室づくり
- ・環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設づくり



木材活用した教室づくり

「めざす学校像」から望ましいと考えられる環境整備	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【教育相談室】(心の教室) 児童生徒と教師が個別に相談したり、児童生徒が落ち着いて時間を過ごすための空間、教師が保護者等からの相談に応じる空間として計画する。</p> <p>【校内適応指導教室】 不登校や不登校傾向である児童生徒が教室以外に安心して過ごせる「居場所」を確保する。</p> <p>【安全・防犯対策】 児童生徒が立ち入るべきでない場所は、施錠するなど物理的な立ち入り制限を計画するとともに、非常時の避難にも配慮しつつ的確な施錠管理を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各種防犯設備の整備 ○守衛用立哨ボックスの多機能化(ICT 活用) ○木材の使用 ※個人ロッカーの設置 ○太陽光発電、高効率照明、建物断熱などの整備 ○斜面緑化を活用した「緑豊かな」学校づくり ○淀川や北摂山系の眺望を活かした校舎づくり(展望室の設置、エントランスや廊下の向きにも配慮)

(2)夢のある英語教育を進める学校

- ・関西外国語大学と連携した取り組みや海外を含めた他校との交流事業を進める
- ・多様で多彩なアプローチにより、英語教育を通じた児童のコミュニケーション能力向上を図るとともに、これからのグローバル社会で児童が夢を持って自らの可能性を伸ばす教育の推進

「めざす学校像」から望ましいと考えられる環境整備	新しい学校づくりにおける整備(案)
ICT を活用し、他の教室や別の施設とも交流できる環境とする。	○外国語教室(視聴覚教室兼用)に、大型スクリーンなど視聴覚機材を設置

(3)多機能な学校図書館を設置する学校

- ・読書センター機能、学習・情報センター機能の役割を十分果たす学校図書館の整備
 - ・就学前児童をはじめ、地域住民にも一部開放できる配置・運営
- ※令和3年度から高陵小・中宮北小兼務の学校司書を配置

「めざす学校像」における具体的な整備事例	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【図書室】(学校図書館) 児童生徒の様々な学習を支援する学習センター機能、必要な情報を収集・選択・活用し、その能力を育成する情報センター機能、学校における心のオアシスとなり、自発的に読書を楽しむ読書センター機能について計画する。学校司書、司書教諭、図書委員等が図書、その他の資料の整理、修理等を行うための空間を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館にバックヤード(書庫)を設置し、蔵書の充実を図る ○新しい学校図書館として地域住民の利用も考慮した配置と動線を確保

4. 地域とともにある学校づくり

学校を地域の貴重な財産としてとらえ、地域防災や子育て支援、生涯学習の拠点として広く地域住民から活用されるような学校づくりを行う。



地域活動の様子

(1) 留守家庭児童会室機能を確保した学校

- ・留守家庭児童会室と教室の相互利用が可能なものとする
- ・夜間や休日も、留守家庭児童会室機能が制限されないように配慮

「めざす学校像」における具体的な整備事例	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【留守家庭児童会室】 留守家庭児童会室や放課後キッズクラブ(総合型放課後事業)の良好な保育環境を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○普通教室に必要な水回りを設置した、ハイブリッド仕様でスペースを確保

(2) 防災拠点となる学校

- ・地域の防災拠点としての役割を担うため、新しい生活様式を踏まえた災害に強い施設や、災害対応にも配慮した設備
- ・児童との動線を分離し、地域活動にも使いやすい複合機能を設ける
- ・災害時に教員、児童だけではなく、地域の避難者も十分活用できる施設

「めざす学校像」における具体的な整備事例	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【屋内運動施設等】 避難所となる場合に備えて、便所、更衣室、備蓄倉庫棟、空調設備を計画する。</p>	<p>○体育館の防災設備機能の充実(エアコン設置、防災備蓄倉庫の設置、公衆Wi-Fiの整備) ○軽易な炊き出しが可能なランチルームの整備</p>

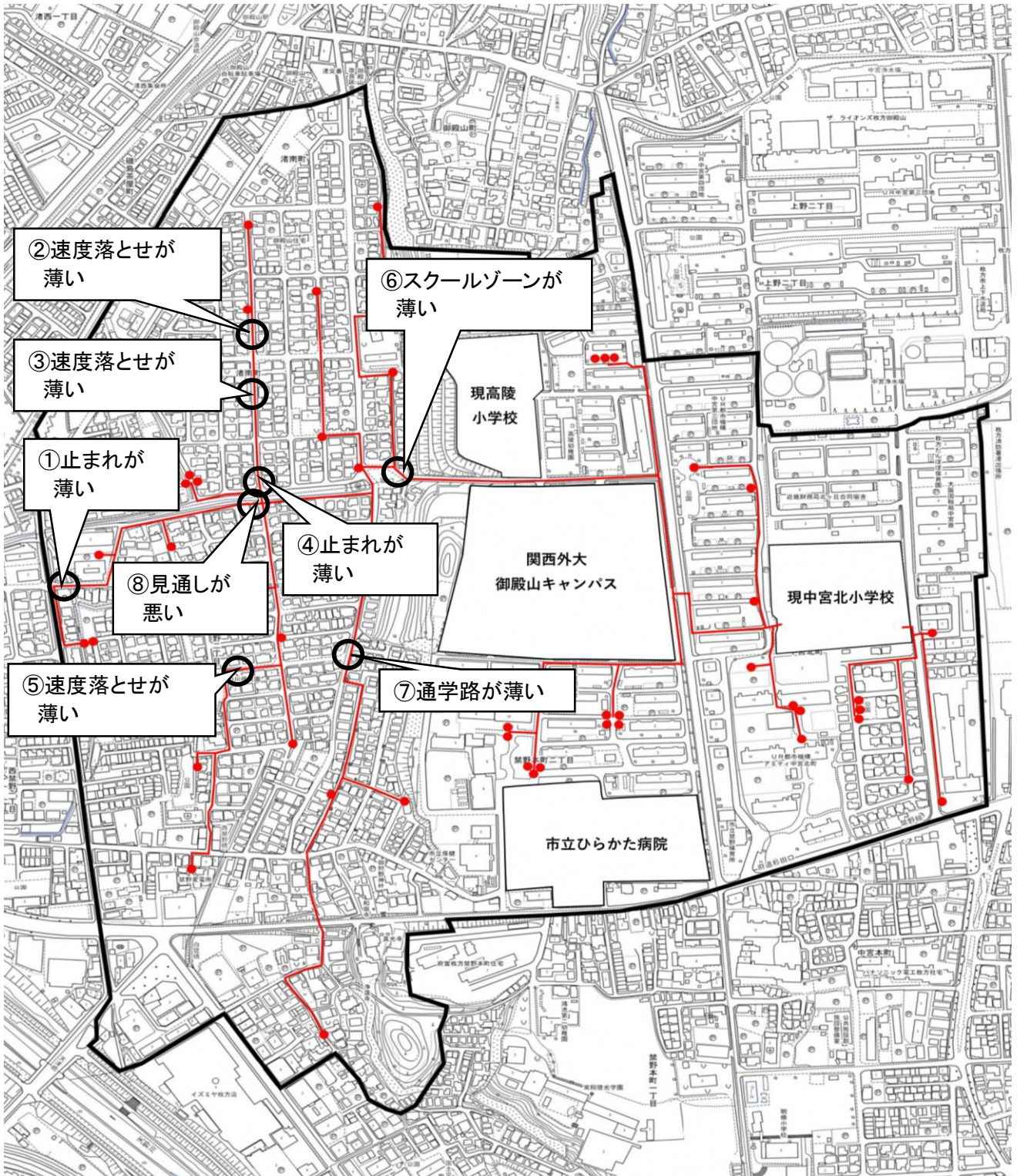
(3)地域の活動拠点となる学校

- ・地域活動の中心となる施設機能
- ・学校施設開放事業で地域住民等がスポーツ施設として、活用することを前提とした設備の整備

「めざす学校像」における具体的な整備事例	新しい学校づくりにおける整備(案)
<p>【地域と学校の連携・協働のためのスペース】 学校運営協議会や地域学校協働活動、PTA 活動の拠点の場、地域住民の交流や学びの場など多様な利用内容を考慮した面積、形状とすること。</p> <p>【学校開放】 学校開放に供する各室、空間は、利用者、利用形態等に応じた面積、形状等を計画する。</p> <p>【体育施設開放促進のためのスペース】 障害者も含めた多様な人々の利用を考慮し、各空間を認識しやすく、相互に利用しやすい計画とする。災害時の避難住民の利用にも配慮して計画する。</p>	<p>○体育館に下足で利用可能な更衣室やシャワールーム、多目的トイレの設置 ○コミュニティスクールの核となる学校運営協議会の活動拠点室を確保 ○就学前児童等の利用にも配慮した新たな遊具の設置 ○「禁野火薬庫跡地」の平和記念碑やモニュメント、資料展示コーナーの設置</p>

通学路における道路標記等の確認場所

資料 5



※ 上記番号①～⑧の写真は裏面となります。

